授業科目	音声障害				
担 当 者	宮田　恵里				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学　　年	２年	総単位数	１単位
		開講時期	前期	選択･必修	必修

■ 授業目的・内容

１．喉頭の解剖および呼吸と発声の仕組みを学ぶ
２．音声障害の診断と評価方法を学ぶ
３．音声治療の適応および実際のアプローチ方法を学ぶ
４．音声外科と薬物療法について学ぶ
５．気管カニューレや気管切開患者への対応および無喉頭音声について学ぶ

■ 到 達 目 標

喉頭の解剖および呼吸と発声について理解する。
患者の病態から音声障害が生じている原因について理論的に説明を行い、適切な評価方法および治療法の選択、音声治療のアプローチ方法を考察出来るようになる。

■ 授 業 計 画

第１回　声の特性・喉頭の解剖
第２回　発声と呼吸の仕組み
第３回　音声障害の評価と診断１
第４回　音声障害の評価と診断２
第５回　音声障害疾患の分類１
第６回　音声障害疾患の分類２
第７回　音声治療の実際
第８回　間接訓練
第９回　症状対処的音声治療１
第10回　症状対処的音声治療２
第11回　包括的音声治療１
第12回　包括的音声治療２
第13回　音声外科と薬物療法
第14回　無喉頭音声・(気管切開患者への対応)
第15回　病態から考える音声治療

■ 評 価 方 法

筆記試験100％

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

毎講義後にテキストおよびレジュメ、配布資料を用いて復習を行ってください。

■ 教　科　書

書　名：言語聴覚療法シリーズ14　改定　音声障害
著者名：苅安誠 / 城本修　編集
出版社：建帛社

書　名：声をみる いちばんやさしい音声治療実践ハンドブック
著者名：宮田恵里 / 佐藤剛史 / 村上健
出版社：医歯薬出版

■ 参考図書

書　名：ST のための音声障害診療マニュアル
著者名：廣瀬　肇　監修
出版社：インテルナ出版

■ 留意事項

やむを得ず講義を欠席した場合は、欠席した講義のレジュメを入手し、分からない箇所があれば質問して下さい。
不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合がある。変更が生じた場合は、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。